



大庭小学校だより

文責:佐藤



働き方改革と学校教育の充実の二兎を追います！

最近の法改正で学校運営協議会においても、働き方改革の進捗などを話題とすることとなりました。11月26日に開催した本校の学校運営協議会でもこの話題を取り上げました。

国は令和8年度から市町村教育委員会に業務量や健康管理を確保する計画を策定し、令和11年度までに月平均時間外勤務を30時間以下に、月45時間以上勤務している者をなくすことを求めています。これは、教職員が労働者として心身ともに健康で児童の指導に当たるためのものです。本校の実態はと言えば、授業日の時間外勤務は直近9・10月では平均45時間前後で目標との開きは大きいです。半数が45時間を超えています。

学習サポーター2年かけ算九九



私の実感としても、大人も子どもも一日が忙しすぎる、余裕・余白がないように思います。みなさまの子ども時代と比べてどう思われますか？だれもが、子どもたちには、幸せな子ども時代を送ってほしいと願っているはずです。「友達と遊びたいから早く帰れる日をつくってほしい」「自分で勉強すること(内容)を決めてやる時間もほしい」と言ってくる子もいます。子どもの意見表明として心にとめたいと思います。

職員が子どもの前に健康に立てるように、ひいては子どもたちの幸せのために、上の目標は必達です。もちろん、教育委員会が物的・人的に学校を支援することは必須ですが、急に教員が増えるわけではなく、むしろ慢性的な教員不足の状況です。学校の自己努力も必要ですし、保護者・地域のご協力も今以上にいただければ、この目標は達成できません。

学校運営協議会では文科省作成の「学校と教師の業務の3分類」を資料としました。これまで当然のように行われてきた「①登下校の見守り②校区内見回り③集金⑤いわゆるカスタマーハラスメント」は学校以外が担うとされています。④は地域学校コーディネーターさんに大変お世話になっています。特に今学期は1・2年生の九九の暗唱など学習支援にたくさんのお力をお貸しいただいています。

・学習サポーターに参加している方からは「子どもたちから元気をもらえる」と言われる。一方、サポーターで九九を聞いている1時間でもたくさんの子どもの相手をするのは大変なので、これを1日やっている先生は本当に大変。応募の仕方を工夫してサポーターを増やすとよい。九九の暗唱を聞くなどの誰でもできる内容ということを伝えたら増えるのでは？

・講師として授業に参加すると、時間内に課題が終わらない児童もいる。時間内に密度の高い授業をすることは大変だと思う。以前は時間割に余裕があり、放課後に残って勉強することもあった。40分授業の取組(後述)で、自分からやりきれなかったところ、わからないところに取り組むようにしてほしい。

・公民館文化祭での子どもの出店はとてもありがたかった。にぎやかな文化祭となり、来場者の平均年齢も若返った。

「学校と教師の業務の3分類」より作成

I 学校以外が担うべき業務	II 教師以外が積極的に参画すべき業務	III 教師の業務
①登下校時の通学路見守り活動 ②放課後から夜間などの校外の見回り、補導されたときの対応 ③学校徴収金の徴収・管理(公会計化) ④地域学校協働活動の関係者間の連絡・調整 ⑤保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応	⑥調査・統計等への回答 ⑦学校の広告資料・ウェブサイトの作成・管理 ⑧ICT 機器・ネットワーク設備の保守・管理 ⑨学校プールや体育館等の管理 ⑩校舎の開錠・施錠 ⑪児童生徒の休み時間の安全配慮 ⑫校内清掃 ⑬部活動	だが負担軽減を促進すべき業務 ⑭～⑰ 校内で検討する内容のため省略

1年生いもほり



文部科学省は、国・行政の取組に加えて、裏面のように地域や保護者の方の協力を依頼しています。学校の現状を理解し、学校教育にご協力いただき、ともによりよい学校を創っていくために参画いただきたいという内容です。島根県内教育長の共同メッセージもご覧ください。

これまでも、電話対応時間の見直し、通知表の変更など保護者のみなさまのご理解で進めてきました。これから令和8年度以降を見据え、12月8日の週から現在の45分授業を40分にする実証実験に取り組みます。これは、近年、目黒区などの研究開発校で研究されている取組です。本校にもフィットするかを検証します。例えば、プリントを配る時間を学習者用PCに一斉配信、子どもの意見を板書する時間を電子黒板に集めるなど学校のICT環境整備も活用して5分の短縮を図ってみます。1日6時間だと5分×6時間で30分の時間ができ、高学年児童の場合は15時ごろに下校となります。年度中の下校時刻変更は様々に影響しそうなので、実験では下校時刻は変えず、その30分は子どもが学習を選んで自学自習をする時間などにします。学年末ですので、自分の苦手を補う子がいれば、得意や興味を発展させる子いるでしょう。こうした学習は、自立に向けて必要な力でもあります。

6年生島根半島地層見学 保護者さんが講師さんです。



※年間を通して40分授業をおこなう場合でも定められている年間の総授業時間数は確保します。

今回の写真は地域・保護者のお力をお借りしての学習です。これから、学力のご支援また働き方改革のご支援という視点もお考えいただけると幸いです。何度も申し上げますが、教師が笑顔で子どもたちの前にいることが何よりの教育資源です。今後も、様々な取組が必要となります。引き続きのご理解・ご協力をお願いします。

学習サポーター 引き続き募集中、かけ算九九の暗唱を聞くなどをお願いしています。2学期はあと4回。

12月2日(火)は13:45～、11日(木)16日(火)18日(木)は13:20～ 当日で結構ですので職員室にお声がけください。

誰かが、誰かの、
たからもの。

教職員の「働き方改革」への ご理解・ご協力、ありがとうございます。

島根県内教育長 共同メッセージ — 保護者・地域の皆さまへ —

教職員の「働き方改革」に ご理解・ご協力をお願いいたします。

教職員には、豊かな人間性や使命感、教育的愛情といった資質を胸に抱き、子どもたちのために全力を尽くす責任があります。そして、その責任を全うするため、教職員の心身の健康は不可欠です。

一方、教職員の働き方の状況を見ると、改善途上にあるものの、今なお長時間の時間外勤務が発生しており、若手の中途退職も増えています。さらに、小学校を中心に、配置すべき数の教職員を確保できない事態も生じています。

「働き方改革」によって、こうした状況を打開するとともに、生み出した時間を使って、前の授業を履修した次の授業の準備や、プリント等の印刷、個別の学習支援、教育相談など、子どもたち一人ひとりに丁寧に丁寧に向き合える環境をつくりたいと思っています。

このため、県・市町村が協力して「働き方改革」に取り組ましますので、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。




ご協力いただきたいこと (実施する取組や時期は、市町村・学校によって異なることもあります。)



学校への電話は、緊急時を除き、可能な限り勤務時間内にお願いします。

教職員の勤務時間は、学校によって異なりますが、概ね午前8時から午後5時までです。なお、学校からの電話連絡は保護者さまに連絡が取れる時間に行うことがあります。



登下校については、引き続き、ご家庭・地域での見守りにご協力をお願いします。

子どもたちの安全な登下校のため、引き続き、皆さまのご協力をお願いします。また、校外生活についてもご家庭での指導をお願いします。



地域・学校の連携を推進するためにも、学校へ参加を求める会合・行事のうち可能なものについては、平日・勤務時間内の開催もご検討ください。

学校によっては、学校が開催する会合についても、参加者誰もが参加しやすい時間・方法の工夫を進めます。

島根県内教育長 共同メッセージ
(令和5年12月)

学校からの声

- 電話連絡は、勤務時間内にさせていただくことが増え、ゆとりを持った授業準備やスキルアップの時間が持てました。
- 地域の皆さまから、学校行事への協力をお申し出いただくことが増え、子どもたち一人ひとりに向き合える時間が増えました。

学校・地域の実態に応じて様々なご協力をいただいています

- 水泳学習時の監視や校外学習の引率の補助、家庭科実習での児童生徒へのサポートや登下校の見守り
- 運動会、学習発表会などの学校行事の準備・片付け、駐車場の案内
- 教員に代わっての部活動指導や大会等の引率、教員と一緒に部活動の技術的サポート
- 図書館の本の登録や廃棄、補修、読み聞かせ
- 学校の花壇の手入れ、芝生の管理などの環境整備

保護者や地域の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。

- 教職員が子どもたちと向き合える時間を確保していくために、これからも教職員の「働き方改革」に取り組んでいきます。
- 授業公開日、PTA総会等を活用し、教職員の「働き方改革」の取組状況をお伝えしていきます。
- 学校評価や各種アンケート、学校運営協議会などにおいて、保護者や地域の方々のご意見を伺いながら、教育活動の改善に努めていきます。

引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

島根県教育委員会教育長
大田市教育委員会教育長
飯南町教育委員会教育長
吉賀町教育委員会教育長

松江市教育委員会教育長
安来市教育委員会教育長
川本町教育委員会教育長
海士町教育委員会教育長

浜田市教育委員会教育長
江津市教育委員会教育長
美郷町教育委員会教育長
西ノ島町教育委員会教育長

出雲市教育委員会教育長
雲南市教育委員会教育長
邑南町教育委員会教育長
知夫村教育委員会教育長

益田市教育委員会教育長
奥出雲町教育委員会教育長
津和野町教育委員会教育長
隠岐の島町教育委員会教育長

学校へのご理解・ご協力

いつもありがとうございます

子供たちへのより良い教育のために

さらなる学校へのご協力をお願いします



1

教師を取り巻く環境

いじめなどの
課題が増加

■いじめの重大事態の発生
件数(小中学校)



子供の
スマートフォン、テレビゲーム
の使用時間が増加

	R3	R6	
小学校	2時間8分	2時間48分	40分増
中学校	3時間2分	3時間44分	42分増

※平日1日あたりの平均
※スマートフォン、テレビゲームの使用時間の合計

厳しい勤務実態

■平均時間外在校等時間は地方公務員の
一般行政職の約3倍(R4:月約47時間)

臨時講師等が確保できない

「教師不足」

採用選考試験の倍率は

過去最低(令和6年に小学校で2.2倍)

▶ 教師が子供にもっと向き合えるように
する必要があります！

2

文部科学省・教育委員会・学校の取組

■働き方改革を進める
ための仕組み作り

■教職員定数の改善
■支援スタッフの充実

■教職調整額の引上げ

更に取組を進めていくためには、これらの取組に加え、地域や保護者の皆様のご協力が不可欠です！

3

ご協力いただきたいこと

- ✓ コミュニティ・スクールなどを通じ、**学校運営に参画**いただく
- ✓ 学校以外が担うべき業務の**役割分担の見直しへのご協力**
(登下校の見守り、学校ボランティアへの応募 など)
- ✓ **学校行事や業務の見直しへのご理解**



※ 教職員とのより良い関係づくりにご配慮ください



適切な
表現・声量

怒鳴るなどの行動は
お控えください



過度な要求

学校ができないこともある
ことをご理解ください



適切な時間内
の御相談

ご相談は定時に
過度に長時間の御相談は
お控えください



SNSでの
拡散

先生や子供を傷つける
SNS投稿はお控えください